




# 『サトちゃんの大切なもの』指導案

テーマ：「難民問題を知り、作りたい未来へのイメージをもと」  
 <ねらい>

- 難民問題について知る。
- どんな未来を作りたいかをイメージし、それを絵で表現する。

※ T：授業者 C：子ども

段階	○学習活動 ☆指導上の留意点	・資料 ☆指導上の留意点
難民問題を知る (25分)	<p>○アイスブレイクとして、「幸せだな」と感じるのは、何をしている時か、グループメンバーに伝える。</p> <p>○3つのアニメを見て、登場人物に起きていることや気持ちを考えて学んでいくことを理解する。</p> <p>○「リンゴをもってにこにこするサトちゃん」のイラストを見て、サトちゃんについて想像する。</p> <p>T「サトちゃんはどんな顔をしているかな。」                      C「笑っている。」                      C「幸せそうだ。」                      T「サトちゃんがこんな顔をしている理由を動画を見て考えてみましょう。」</p> <p>○『難民「サト」のものがたり』の動画0分39秒までを見て、サトちゃんが笑顔でいられる理由は何か考える。                      C「りんごをくれた優しい人がいたから。」                      C「友達がたくさんいるから。」                      C「お母さんがいたから。」</p>	<p>・資料 ☆指導上の留意点</p> <div data-bbox="882 526 1353 795" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <p>☆サトちゃんに共感できるように、「そんなとき、あなたもうれしい気持ちになる？」などと補助発問をするとよい。</p>
	<p>○「涙を流すサトちゃん」のイラストを見て、どんな顔をしているか、どうしてこんな顔になったのかを考える。                      C「悲しそうな顔をしてる。」                      C「友達とけんかしたのかな。」</p> <p>○『難民「サト」のものがたり』の動画0分39秒から1分38秒を見て、サトちゃんが涙を流している理由を考える。                      C「親がいなくなったから。」                      C「町がなくなってしまったから。」                      C「こわい思いをたくさんしたから。」</p> <p>T「サトちゃんのように戦争などで逃げている人たちは、世界で約7950万人（2019年末）います。避難生活は長いときには10年も年20年も続きます。」</p>	<div data-bbox="882 1056 1353 1326" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <p>☆子どもの発言を受けながら、「紛争などによって、自分が生活する町や家に住めなくなってしまった人を難民と言います。」などと、「難民」という用語の意味を説明する。</p> <p>☆「いのちのメジャー」を実際に巻いてみて、難民の子どもたちの大変な状態を感じる。</p> <p>☆これらの情報はクイズ形式にして子どもに伝えることもできる。その際は、子どもの関心が「クイズに正解したか」のみに向かないように注意する必要がある。</p> <p>☆アイスブレイクで話した「自分にとって幸せな時間」は、難民になっても確保できるかを問いかける。日常の当たり前の幸せが奪われてしまう現実を理解させたい。</p>

	<p>○「再び笑顔になるサトちゃん」のイラストと『難民「サト」のものがたり』の動画1分38秒から最後までを見て、サトちゃんがどのようにして笑顔を取り戻したのか考える。</p> <p>T「サトちゃんはどんな表情をしているかな。」</p> <p>T「どうしてまた笑顔になれたのか、動画を見て考えてみよう。」</p> <p>C「家や食べ物を用意してくれた人がいたからじゃないかな。」</p> <p>C「友達と再会できたり、新しい友達ができたりからじゃないかな。」</p>	 <p>☆子どもの発言を受けて、UNHCRという団体の存在やその活動内容を説明する。</p>
<p>作り たい 未来 を考 える (10 分)</p>	<p>○サトちゃんにこの後、どんな未来が訪れてほしいか考え、絵で表現する。</p> <p>※イメージ</p> 	<p>☆教師が作成したサンプルがあると子どもは考えやすい。</p> <p>☆「あなたの絵にはお花がたくさん描かれているね。どんな思いでお花を描いたのかな。」などと子どもたちに声をかけ、絵に込められた願いを言葉でも表現させるとよい。</p>
<p>問題 意識 を継 続さ せる (10 分)</p>	<p>○ワークショップのまとめを行う。 (ゲストティーチャーからのお話を聞く)</p> <p>○学習感想を書く</p>	<p>☆ゲストティーチャーがいる場合は、難民支援活動のやりがいや、子どもたちが自分事として問題意識を継続させられるような内容を伝えてもらう。</p> <p>☆学習感想には、今からでも自分たちにできることを考えられるように促す。</p>

<準備するもの>

- ・ワークシート（ぬりえ）：人数分
- ・いのちのメジャー：人数分
- ・資料プリント※：人数分
- ・授業用スライド・パソコン・プロジェクター・スクリーン
- ・『難民「サト」のものがたり』（YouTubeで検索可）
- ・筆記用具
- ・色鉛筆やクレヨン

※授業終了後に自分で振り返ったり、持ち帰って家族に話したりするときのためのもの  
 ※クラスでの募金活動や、自分たちで少しずつ募金をしようという意志を実現させる時のため、  
 国連UNHCR協会には「テント型貯金箱（募金箱）」のペーパークラフト等がある（応相談）。